



かなうち まさき
叶内 昌樹 議員

通園バスの 安全装置対策は万全か

置き去り防止の徹底に取り組む



安全装置が設置予定の保育園専用バス

町では9月の静岡県の園児や児童生徒のバスの置き去り事件のほとんどは「車内の確認・点検を怠った」ことに起因するものであります。



「乗車・降車チェックシート」で保育士が最終確認

町では9月の静岡県の園児や児童生徒のバスの置き去り事件が発生した直後に、バスの全運転手に対し、注意喚起と降車後の車内の確認・点検の徹底を指示したところであります。「保育所、認定こども園における送迎バスの安全管理に関する緊急点検及び実地調査」は実施済みで、保護者との連絡体制や職員間の情報共有バス降車時の点検及び複数職員による確認はクリアしており、これまで無かった、利用するバスごとに園児の名前を記入した「乗車・降車チェックシート」を新たに作成し運用しているところですので、他の、かもしかクラブ・バスの運転手・保育園職員・地域の方々と一緒に、幼い命を守るための安全管理の徹底に取り組んでいます。安全装置については、町としても早期の設置を目指し、12月補正に関連予算を計上しており、仕様を示されたならばすぐに対応したいと考えております。いずれにしましても、安全装置は人為的なミスを補完するものであり、一番重要なのは、関係職員の確認・点検であるうと思っております。



あrawa ひろみつ
荒澤 広光 議員

コロナと共存に向けた町の取り組みを

検査キットの購入補助は考えていない



簡単に確認できる抗原検査キット

本町での新型コロナウイルス感染者数は、現在も増加しているものと推察されます。

1、本町で過去に陽性と診断された方へ、町独自で後遺症の実態を調査してフォローする必要があるのでは。

2、感染不安のある方は抗原検査キットを購入し、自己検査を行い職場や旅行に行っていると思

町長 山形県での感染者数の把握については、全数把握の見直しが実施されたことにより、現在は市町村別の公表はされておりましたが、11月23日

町長 これからは新型コロナウイルスと共存し日常生活、職場、地域の行事等を行うていかなければならないと思います。

今後のコロナ感染症との共存に向けて、町長の考えを伺います。

町長 これまで発生した園児や児童生徒のバスの置き去り事件のほとんどは「車内の確認・点検を怠った」ことに起因するものであります。

公表分までの約2カ月で、本町の70歳以上の方の感染状況は県全体の0.73%（46名）です。

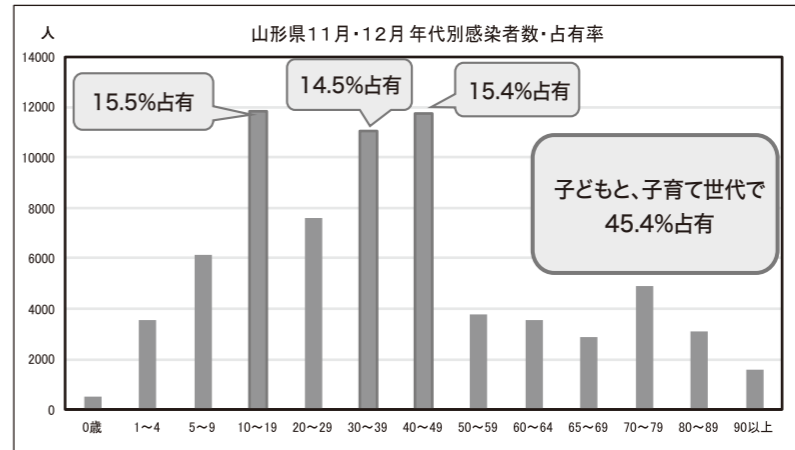
1点目の後遺症については、仕事や学校生活への影響などを把握するため、山形県による実態調査が行われております。県のホームページから回答する形式となっております。新型コロナウイルスに罹患して2か月以上経過した方が対象です。町のホームページからも回答できます。

2点目の抗原検査キット購入補助制度については、流行当初は入手が困難で、価格も高かったと認識しておりますが、今年4月から4割程度安くなっている製品もあり、入手環境は改善されてきたので、今のところ

町としまして、これまで取り組んできた対策や対応について、その経過を、今のところ対象を拡大する考えはありません。

購入補助は考えておりません。

3点目のインフルエンザ予防接種への助成対象拡大については、免疫力が低い中学生以下の小児や65歳以上の高齢者等、重症化リスクの高い層に対して助成を行っており、今のところ対象を拡大する考えはありません。



町としまして、これまで取り組んできた対策や対応について、その経過を、今のところ対象を拡大する考えはありません。

町としまして、これまで取り組んできた対策や対応について、その経過を、今のところ対象を拡大する考えはありません。